

認知症に関する活動計画（概要）

愛知県作業療法士会(以下、愛知県士会)では、引き続き認知症施策大綱、愛知県独自の認知症施策である「あいちオレンジタウン構想」を踏まえて、作業療法士が認知症の方の自分らしい生活、「できる」を支援する具体的な取り組みを検討している。

今年度は、昨年度に実施した認知症疾患医療センターやもの忘れ外来における愛知県士会員の関与の実態調査の結果を広報誌に掲載し、活動内容や課題等の周知を図った。さらに、各方面への作業療法士の活用をアピールするためのパンフレットの作成、地域活動実践者研修会の中で、愛知県認知症希望大使を招き、認知症のご本人とともに考える機会や、地域包括ケアの人材育成研修会内で認知症についての講演を企画することにより、人材育成の強化に努めている。認知症の方へ作業療法士の関わりが求められる中、対応できるような体制づくりと人材育成をさらに、推進していく。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

今年度も愛知県士会員がキャラバンメイトのメンバーとして参画する。また、世界アルツハイマー・デーに合わせて愛知県士会のホームページの配色をオレンジ色に変更し、アルツハイマー・デーの概要や愛知県士会としての取り組みを紹介するコラムの掲載を企画している。



認知症の人と家族の会との連携事業

愛知県士会としての連携事業は行えていないが、愛知県士会員が愛知県支部の世話人を務め、若年性認知症のご本人とご家族の居場所づくりにも関わっている。

COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

対面での研修会は開催せず、オンラインでの研修会を実施することで、学びの機会が担保できるよう取り組んでいる。

行政との連携及び関連する事業内容

愛知県および名古屋市の若年性認知症自立支援ネットワーク会議に愛知県士会員が参画している。若年性認知症の人に対して発症初期から高齢期まで本人の状態に合わせた適切な支援が図れるよう、医療、介護、福祉、雇用の関係者が連携し、支援ネットワークを構築することを目的としている。

また、今年度より愛知県では認知症のご本人2名を「愛知県認知症希望大使」として任命し、認知症の啓発活動やピアサポート事業を実施しており、愛知県士会員がその活動のサポートを行っている。さらに、県内で行われている認知症サポーター養成講座も兼ねる研修会の後援も行っている。

こうした活動の中で、認知症の方への支援に行政等より作業療法士への期待が大きい現状があった。行政担当者等とも意見交換を重ね、愛知県士会としてできることを検討していく。

